

S I D R

滋賀県感染症情報

SHIGA Infectious Diseases Report

《週報》

第 9 巻第 43 号

第 43 週(10月19日～10月25日)

発行年月日:平成21年(2009年)10月29日

発行:滋賀県衛生科学センター内

滋賀県感染症情報センター

電話 077-537-7438 FAX 077-537-5548

今週の感染症発生動向

インフルエンザで警報発令!! 腸管出血性大腸菌感染症の発生は24例

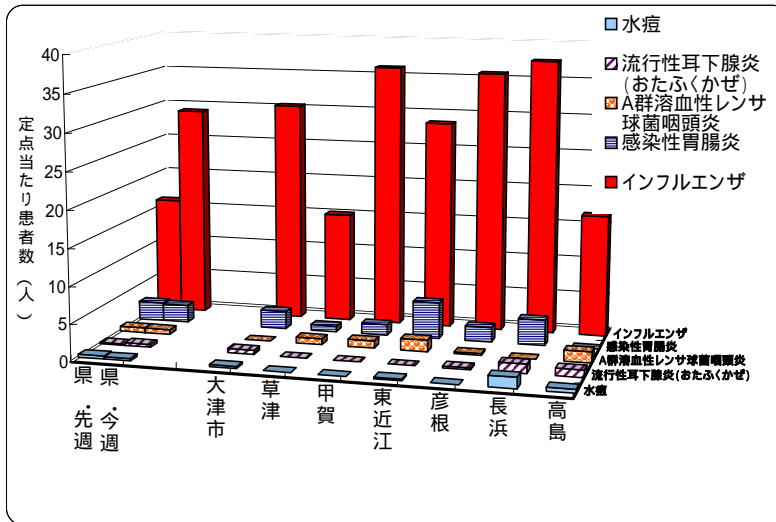
定点把握の対象となる五類感染症の患者報告数は、先週よりさらに増加し、特にインフルエンザで先週の約1.8倍増となっています。今週増加した疾患はインフルエンザ、流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)等で、減少した疾患は、感染性胃腸炎、ヘルパンギーナ等です(他の疾患については、疾病別定点当たり患者数のグラフ参照)。インフルエンザの保健所管内別発生状況は、別紙グラフに示すとおりです。

インフルエンザについては、県は10月27日に県内全域に警報を発令しました。昨年度(1月20日)より非常に早い発令となっています。

「感染症発生動向調査に基づく感染症の警報・注意報システム」による保健所管内別の警報の発生状況については、下記に示すとおりです。

全数把握対象疾患では、二類感染症の結核で5名、三類感染症のコレラで1名、腸管出血性大腸菌感染症で1名、四類感染症のレジオネラ症で1名、五類感染症の急性脳炎で1名の届出がありました。

上位5疾患の発生状況(定点把握対象五類感染症、第43週、定点当たり患者数)



県全体における上位疾患の発生状況についてはグラフに示すとおり、インフルエンザ、感染性胃腸炎、流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)、水痘の順に多くなっています。

インフルエンザは、各保健所管内ともに先週より増加しています。特に、大津市、甲賀、彦根、長浜の定点当たり患者数は非常に多くなり、それぞれ30.36、36.14、35.71、37.57となっています。

感染症発生動向調査に基づく流行の警報・注意報システム

感染症発生動向調査に基づく流行の警報・注意報システム(厚生労働科学研究事業)では過去5年間の患者発生状況をもとに疾患ごとに警報レベルおよび注意報レベルの基準値を設定し、その基準値を超えた時に流行発生警報(警報)あるいは流行発生注意報(注意報)という表現により、流行状況を示しています。

流行発生警報(警報)

大きな流行が発生した、または発生している可能性があるという情報を提供しています。

流行発生注意報(注意報)

今後4週間以内に大きな流行が発生する可能性がある、または現在も流行が継続している可能性があるという情報を提供しています。

保健所管内別警報発生状況(平成21年第43週、H21.10.19～H21.10.25、滋賀県)

疾患名	県	保健所管内別						警報開始基準値	警報終息基準値	注意報発生基準値	
		大津市	草津	甲賀	東近江	彦根	長浜				高島
インフルエンザ 定点当たり患者数(人)	29.13	30.36	15.11	36.14	28.63	35.71	37.57	16.67	30.00	10.00	10.00

🔴 警報開始基準値を超えています。

🟡 注意報発生基準値を超えています。

1) 全数報告の感染症(一類～五類)

滋賀県内の医療機関において、医師が感染症法で定められている一～四類および五類感染症に該当する患者を診断したとき医師は保健所に届出ることになっています。このことを全数報告とします。届出により、滋賀県内で発生している感染症法で定められた一～四類および五類感染症を把握することができます。

感染症類型	疾患名	報告数 (43週)	累積報告数		平成20年報告数	
			滋賀 (43週)	全国 (43週)	滋賀	全国 ^(*)
一類感染症	報告なし	0	0	0	0	0
二類感染症	結核	5	213	21,302	282	28,419
三類感染症	コレラ	1	1	14	0	45
	細菌性赤痢	0	0	148	^(*) 3	320
	腸管出血性大腸菌感染症	1	24	3,283	53	4,322
四類感染症	E型肝炎	0	1	40	0	43
	A型肝炎	0	0	99	3	170
	コクシジオイデス症	0	0	2	1	2
	デング熱	0	0	69	2	104
	マラリア	0	0	53	1	56
	レジオネラ症	1	7	551	10	893
五類感染症	アメーバ赤痢	0	9	641	10	872
	ウイルス性肝炎	0	1	178	5	241
	クロイツフェルト・ヤコブ病	0	2	108	2	152
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	0	2	87	1	113
	後天性免疫不全症候群	0	8	1,168	11	1,568
	ジアルジア症	0	0	63	1	76
	梅毒	0	2	566	5	839
	破傷風	0	3	99	5	123
	急性脳炎	1	4	260	1	190
	風しん	0	2	139	2	309
	麻しん	0	7	680	39	11,015
新型インフルエンザ等感染症	新型インフルエンザ(H1N1) ^(*)	- ⁽⁴⁾	138	12,270	-	-

*1:平成20年の全国報告数は、平成20年に滋賀県で報告された疾患を対象としています。

感染症発生動向調査事業年報暫定値(国立感染症研究所感染症情報センター)

*2:検疫法第26条の3に基づく検疫所長から滋賀県知事への通知分1件を含みます。

*3:感染症法の一部改正(7月24日施行)により届出の対象となった報告数です(届出期間:7月24日～8月24日)。

*4:感染症法の一部改正(8月25日施行)により届出が不要となったため、集計は行っていません。

全国における全数報告感染症の発生状況 - 第43週(10/19～10/25) -

一類感染症: 報告なし	二類感染症: 結核	291例	三類感染症: 腸管出血性大腸菌感染症	72例	コレラ	3例	細菌性赤痢	6例	腸チフス	1例	四類感染症: デング熱	1例	マラリア	1例	四類感染症: オウム病	1例	つつが虫病	5例	日本紅斑熱	6例	日本脳炎	1例	レジオネラ症	11例	五類感染症: アメーバ赤痢	2例	ジアルジア症	1例	梅毒	4例	破傷風	1例	五類感染症: 後天性免疫不全症候群	8例	クロイツフェルト・ヤコブ病	3例	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	2例	急性脳炎	12例	ウイルス性肝炎	3例	風しん	1例	麻しん	4例
-------------	-----------	------	--------------------	-----	-----	----	-------	----	------	----	-------------	----	------	----	-------------	----	-------	----	-------	----	------	----	--------	-----	---------------	----	--------	----	----	----	-----	----	-------------------	----	---------------	----	-----------------	----	------	-----	---------	----	-----	----	-----	----

2) 定点把握の対象となる五類感染症

感染症発生動向調査事業に係る報告のために、滋賀県が指定した「指定届出機関」を定点医療機関(定点)といい、その定点から報告される感染症です。また、定点当たり患者数とは、一週間を単位として一カ所の定点から何人の患者が報告されているかを示したものです(患者報告数/定点医療機関数)。

(1) 疾病別・週別発生状況(平成21年第38～43週、9/14～10/25)

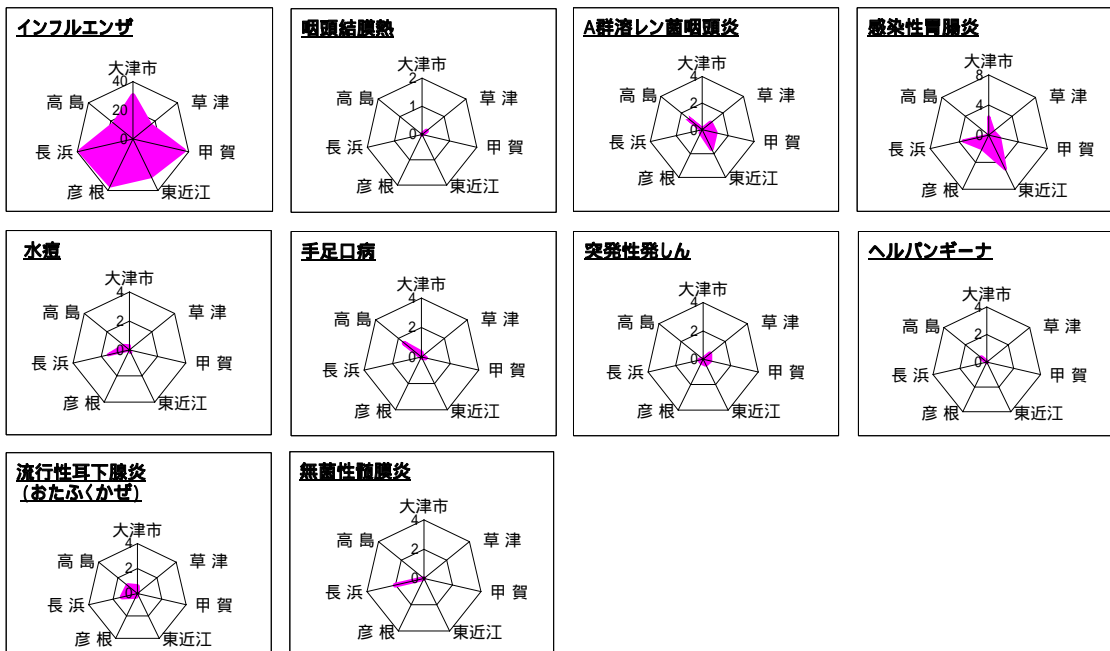
疾患名	定点当たり患者数 (前週より増加 前週と同じ 前週より減少)						
	38週 (9/14～)	39週 (9/21～)	40週 (9/28～)	41週 (10/5～)	42週 (10/12～)	43週 (10/19～)	週 39 40 41 42 43
インフルエンザ	4.79	8.67	6.65	9.73	16.02	29.13	
RSウイルス感染症	0.03	0	0	0	0	0	
咽頭結膜熱(プール熱)	0.19	0.10	0.10	0	0.06	0.03	
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.19	0.13	0.48	0.29	0.65	0.65	
感染性胃腸炎	3.87	2.58	3.42	3.81	2.55	2.39	
水痘	0.45	0.35	0.35	0.19	0.42	0.32	
手足口病	0.42	0.23	0.10	0.26	0.16	0.19	
伝染性紅斑(リンゴ病)	0	0	0	0.03	0.03	0	
突発性発しん	0.39	0.16	0.26	0.39	0.16	0.29	
百日咳	0	0	0.03	0	0	0	
ヘルパンギーナ	0.48	0.13	0.26	0.29	0.35	0.03	
流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	0.23	0.32	0.52	0.39	0.19	0.39	
急性出血性結膜炎	0.13	0	0	0	0	0	
流行性角結膜炎	0.25	0	0	0.13	0.38	0	
細菌性髄膜炎	0	0.14	0	0	0	0	
無菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0.29	
マイコプラズマ肺炎	0	0.43	0	0	0.43	0	
クラミジア肺炎(オウム病を除く)	0	0	0	0	0	0	

(2)疾病別・保健所管内別発生状況(第43週、10/19~10/25)

疾患名	定点当たり患者数(県・保健所管内別)								疾患別発生状況(県全体)
	県	大津市	草津	甲賀	東近江	彦根	長浜	高島	
インフルエンザ	29.13	30.36	15.11	36.14	28.63	35.71	37.57	16.67	
RSウイルス感染症	0	0	0	0	0	0	0	0	
咽頭結膜熱(プール熱)	0.03	0	0.20	0	0	0	0	0	
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.65	0	0.80	1.00	1.60	0.25	0	1.50	
感染性胃腸炎	2.39	2.43	0.80	1.50	5.00	2.00	3.50	0	
水痘	0.32	0.29	0	0	0.20	0	1.50	0.50	
手足口病	0.19	0.29	0	0.25	0	0	0	1.50	
伝染性紅斑(リンゴ病)	0	0	0	0	0	0	0	0	
突発性発しん	0.29	0	0.60	0.50	0.40	0.25	0.25	0	
百日咳	0	0	0	0	0	0	0	0	
ヘルパンギーナ	0.03	0	0	0	0	0	0	0.50	
流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	0.39	0.57	0	0	0	0.25	1.25	1.00	
急性出血性結膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	
流行性角結膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	
細菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	
無菌性髄膜炎	0.29	0	0	0	0	0	2.00	0	
マイコプラズマ肺炎	0	0	0	0	0	0	0	0	
クラミジア肺炎(オウム病を除く)	0	0	0	0	0	0	0	0	

■ は定点当たり患者数が先週より増加 ■ は警報発生中 ■ は注意報発生中

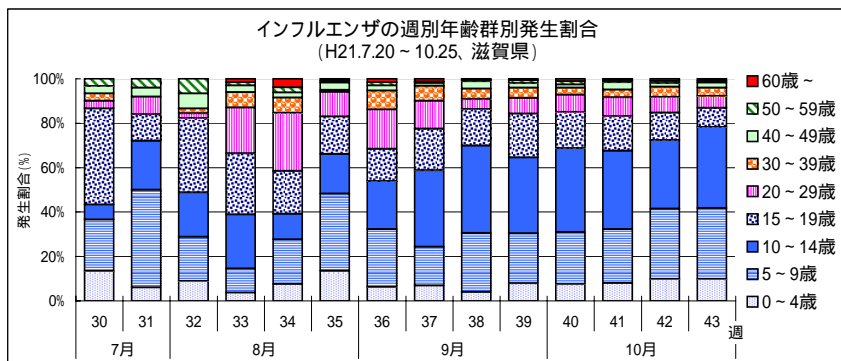
疾患別・保健所管内別発生状況(定点当たり患者数)



(3)今週の発生状況

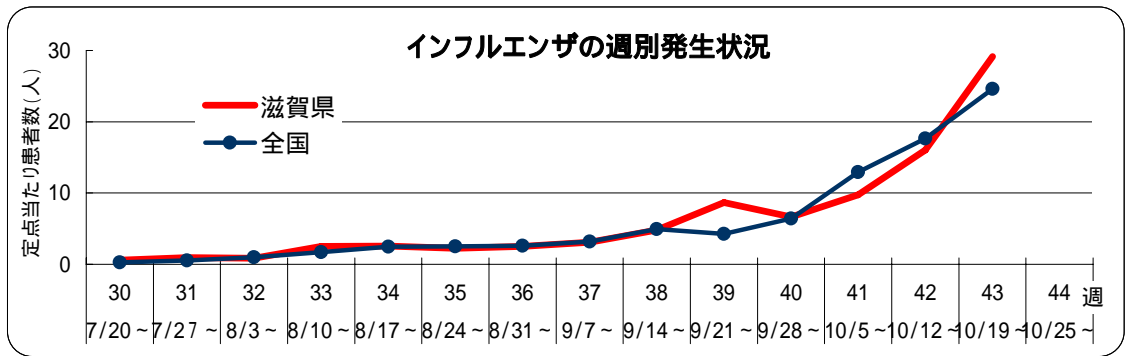
インフルエンザ-----すべての保健所管内で先週より急増し、県全体の定点当たり患者数は29.13と非常に多くなっています。
 また、大津、甲賀、彦根および長浜で警報開始基準値(定点当たり患者数30.00)を超え、保健所管内人口の合計が、県人口の30%以上となったため、県内全域に警報が発令されています。

インフルエンザの週別年齢群別発生割合(第30~43週、H21.7.20~10.25、滋賀県)



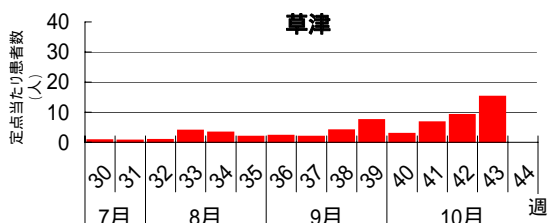
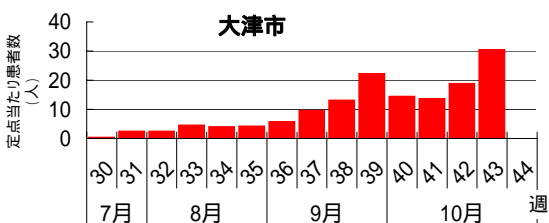
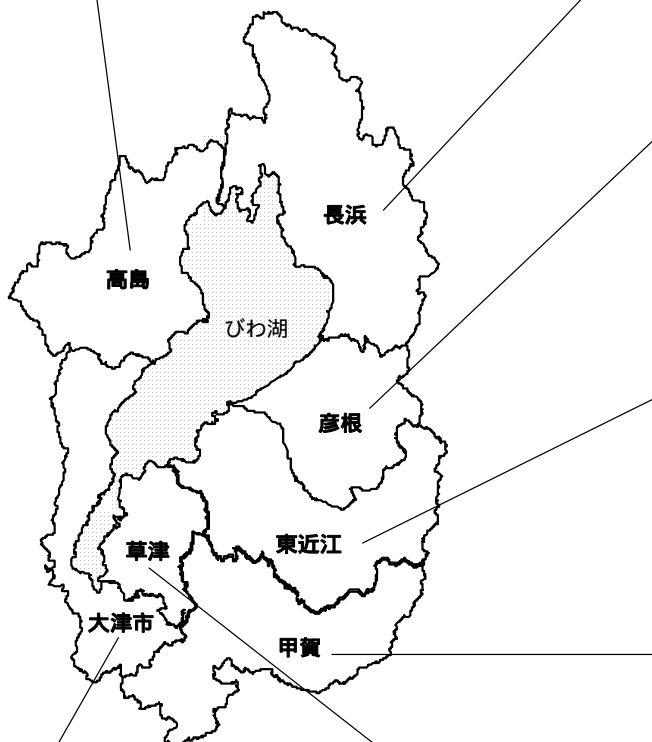
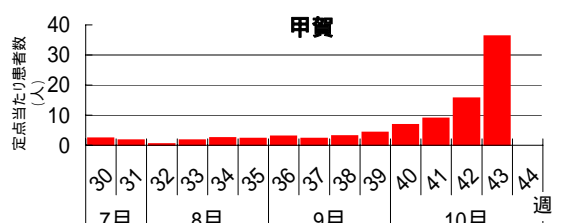
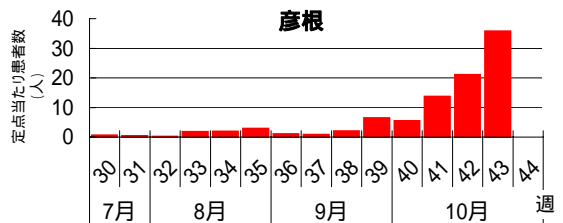
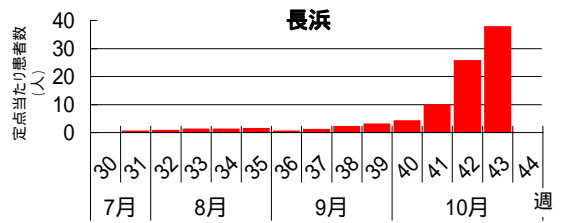
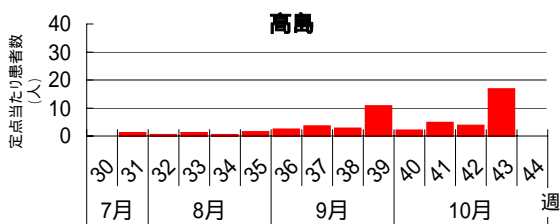
滋賀県における保健所管内別インフルエンザの発生状況

滋賀県・週別発生状況

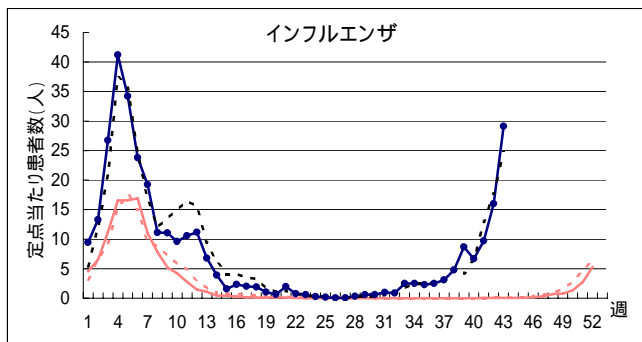


保健所管内別・週別発生状況

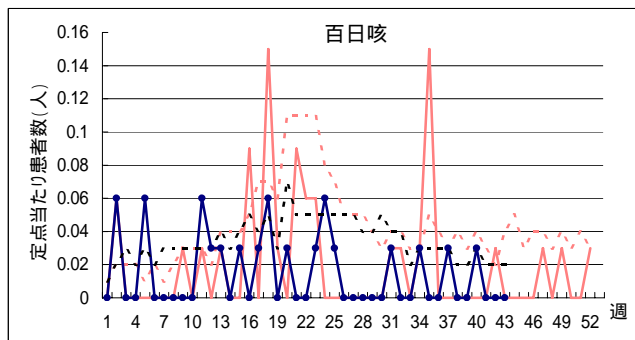
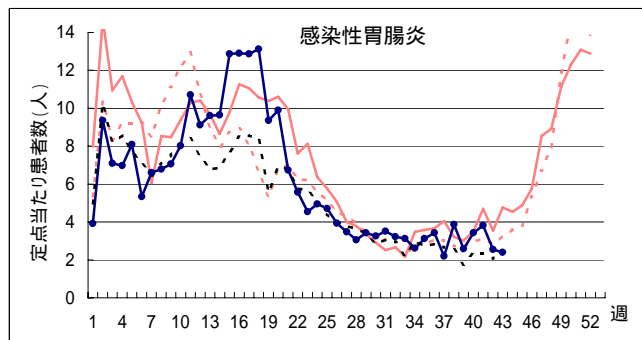
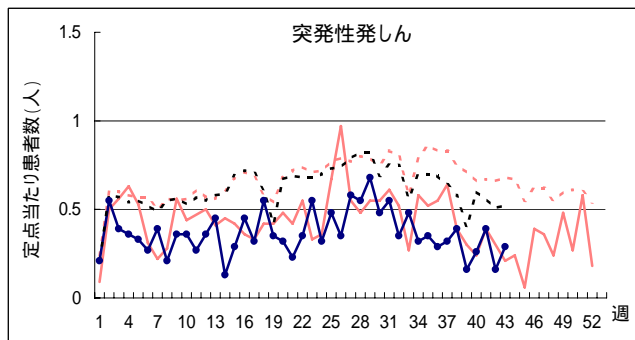
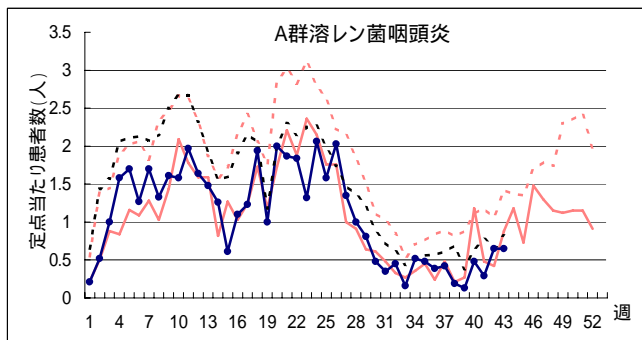
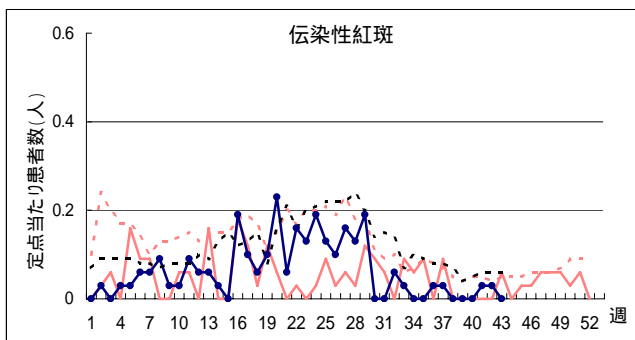
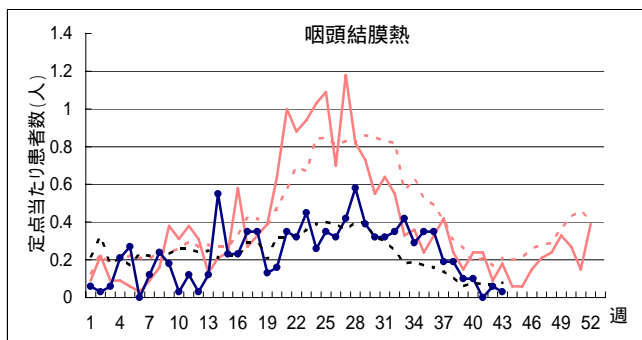
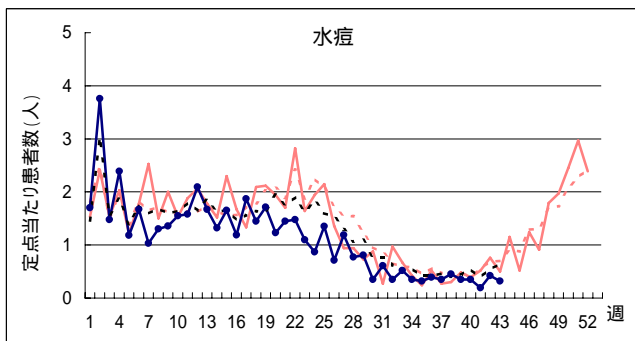
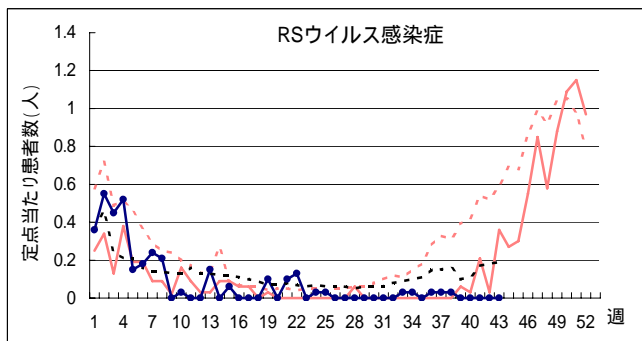
[トップページに戻る](#)



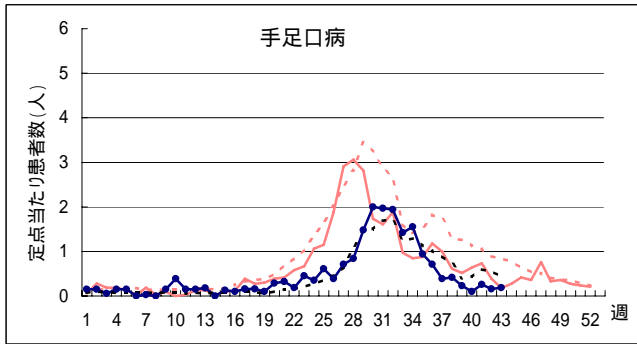
疾病別定点当たり患者数(平成21年第1~43週、H20.12.29~H21.10.25)



H20 { 滋賀 (solid red line)
 全国 (dotted red line)
 H21 { 滋賀 (solid blue line)
 全国 (dotted black line)



疾病別定点当たり患者数(平成21年第1～43週、H20.12.29～H21.10.25)



H20
 { 滋賀 ————
 全国
 H21
 { 滋賀 ————
 全国
 週

